50th Annibersary
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2016.　5.　23　　第2343回例会

すべてを感謝し、新たな50年へ

東京城東ロータリークラブ会長　会田　博

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長	会田　博	副会長	細谷貞治
幹　事	篠田秀樹	副幹事	兒玉正行
		会報委員長	須田雅之

R I 会長
K.R. ラビンドラン
第2580地区ガバナー
鈴木　喬
第2580地区幹事
坂田修一
ガバナー補佐：羽鳥貞雄
(東分区担当)
東分区幹事　：中川　剛
東分区副幹事：加藤和正

世界へのプレゼントになろう

本日の卓話

「地域に愛され成長し続ける美術館
～すみだ北斎美術館」

墨田区長
山本　亨氏

2016/5/16(月)
「 **青少年奉仕を楽しみましょう！** 」
第2580地区 青少年奉仕委員長
松下和正　様

ニコニコボックス

◎卓話の機会をありがとうございます。
第 2580 地区青少年奉仕委員長　松下和正様
○松下、卓話よろしくお願い致します。
会田　博君・篠田秀樹君・細谷貞治君
兒玉正行君・佐野一信君・奈良康司君
山﨑富士夫君・江波戸健治君
○お祝いを頂いて。
相野　隆君・重田敦史君・齊藤榮一君
宇都宮秀雄君・山岸文男君

小計￥44,000.-　累計￥2,817,000.-

2016年5月16日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『我等の生業』
ゲストスピーカー	1名
ゲスト及びビジター	2名
会員出席状況	49名中35名(出席率71.43%)
前々回訂正出席率	100%

- 5月の受付当番 -
今井君/宇都宮君/江波戸君/神前君/兒玉君

次回の卓話

「　未　定　」

小林綾子氏

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2016. 5. 2

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

ローマ法王による特別ミサに、ロータリー会員が出席

4 月 30 日、フランシスコ・ローマ法王による特別ミサがバチカンで行われ、80 カ国から約 9,000 人のロータリー会員が出席しました。サンピエトロ大聖堂前の広場にロータリアンのための特別席が用意された今回の特別ミサで、ローマ法王は、慈悲の心、一体感、人類への奉仕を呼びかけました。

詰めかけた総勢 10 万人以上の出席者の中には、世界各国の警察や軍の関係者も含まれていました。これは、「世界の平和、安全、連帯感の文化を築く」ことが目的です。

アルゼンチン出身のフランシスコ・ローマ法王は、ローマカトリック教会の頂点に君臨する存在でありながら、その言葉は宗教の枠を超え、多くの人びとの心に届いています。今年発表された世論調査の結果では、フランシスコ・ローマ法王は世界で最も好感を持たれ、信頼されているリーダーであることが分かっています。

法王による「平和」のメッセージは、ロータリー会員の心にも響いています。インド・タミルナドゥ州の R. アショカンさんは次のように話します。「法王の平和のメッセージは『受容』を説いています。すべての人びとを受け入れるロータリーは、クラブや地域社会にこの平和のメッセージを届けることができるでしょう」

法王とロータリーはいずれも、国境や文化を越えた存在であるため、今回のミサは、「本当に特別なもの」だと話すのは、米国カリフォルニア州からやってきたアドリアナ・ランティングさん（ロングビーチ・ロータリークラブ）です。「こんな特別な機会を逃すことはできませんでした」

ランティングさんのクラブ仲間であるマドリッド・ジマーマンさんは、カトリック教の信者ではありませんがこのミサに出席。法王は、誰の心にも届く力を持っていると言うジマーマンさんは、「ロータリーにも同じ力があると思います。表現の仕方は違うかもしれませんが、誰かを助けたいというロータリアンの願いは同じです。このミサは、支援を必要とする人に手を差し伸べるというロータリーの目的を再確認する機会となりました。クラブにこのメッセージを持ち帰りたいと思います」と話します。

特別ミサの後、K. R. ラビンドラン RI 会長が率いる少人数のロータリー会員がローマ法王と謁見しました。法王はそこで、ポリオ撲滅活動の重要性を強調し、ロータリーがこの病との闘いを継続するよう奨励しました。ヒンズー教徒であるラビンドラン会長は、法王との謁見について、次のように振り返ります。

「フランシスコ・ローマ法王より、ロータリーがポリオ撲滅の闘いを継続するようにとのお言葉をいただきました。ロータリーによるこれまでの活動に誇りを感じただけでなく、現在の活動への信念を新たにし、未来への希望を大きくすることができました」

・難民問題に取り組むために

特別ミサの前日、ロータリーはローマで、シリア、イラク、アフガニスタンからの難民問題への取り組みについて話し合うパネル討論会を実施しました。第二次世界大戦以来、最大規模であると言われている現在の難民問題。過去 40 年間で、1100 万人のシリア人を含め、6000 万人以上が戦争と暴力のために住む場所を失っています。

「Vatican Radio」によって進行されたこのパネル討論には、世界食糧計画の専門家、イエズス会難民サービス、国連難民高等弁務官事務所が参加し、新天地にたどり着いたこれらの難民への支援方法が話し合われました。

ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長はこの場で、難民の社会融合のためにロータリークラブが実施しているいくつかの取り組み（コンピューターの符号化スキルを教える学校、イタリア・リミニでの職業研修プロジェクトなど）を紹介しました。

ローマで 2 日間にわたり行われたこのパネル討論と特別ミサは、バチカンによる「いつくしみの特別聖年（Jubilee of Mercy）」にあわせて企画され、第 2080 地区（イタリア）が「Jubilee of Rotarians」として推進したものです。一連の行事として、チャリティコンサートや、ポリオ撲滅の募金を目的とした晩餐会も行われました。

記事：Ryan Hyland